

第165回教育研究評議会議事要録

日 時 平成31年1月21日（月）14時00分から15時25分まで
場 所 本部棟5階 大会議室
陪 席 千家監事
欠 席 者 服部学長，大谷評議員

○ 議事に先立ち，議長である服部学長は欠席のため，学長代理を指名されている藤田理事が議長代理となる旨の説明があった。

議 題1．第3期中期目標・中期計画の変更について

秋重理事から，第3期中期目標・中期計画の変更について説明があり，原案どおり議決された。

報告事項1．「島根大学イノベーション創出機構規則」及び「島根大学イノベーション創出機構先端素材共同研究所規則」の一部改正について

議 題2．国立大学法人島根大学管理学則の一部改正について

審議に先立ち，関連性があることから，報告事項1を報告した後，議題2を審議することとし，秋重理事から，「島根大学イノベーション創出機構規則」及び「島根大学イノベーション創出機構先端素材共同研究所規則」の一部改正について報告があり，続いて，国立大学法人島根大学管理学則の一部改正について説明があった。

松崎評議員から，副センター長を1名増やすことに関し，副センター長の業務分担について質問があり，秋重理事から，副センター長の役割としては，研究面でのサポート，企業との連携，及び本学執行部との連絡役を考えているとの回答があり，原案どおり議決された。

議 題3．島根大学学術研究院規則の一部改正について

藤田理事から，島根大学学術研究院規則の一部改正について説明があり，原案どおり議決された。

議 題4．「島根大学共同研究取扱規則」及び「島根大学共同研究取扱細則」の一部改正について

秋重理事から，「島根大学共同研究取扱規則」及び「島根大学共同研究取扱細則」の一部改正について説明があった。

松崎評議員から，共同研究取扱規則の一部を改正する規則（案）において，間接経費を課す理由について共同研究を行う企業等に説明するための資料を作成してほしいとの意見があり，説明資料については検討することとされ，原案どおり議決された。

議 題5．2021年度島根大学入学者選抜の予告について

武田副学長から，2021年度島根大学入学者選抜の予告について説明があった。

出口副学長から、1月下旬以降と2019年夏の2回に分けて公表する理由について質問があり、武田副学長から、今の段階ではまだ伏せておくべき項目もあるため、高校側が特に注目している内容については早い段階で公表し、より詳細な情報については追って公表することとしたためであるとの回答があった。

上園評議員から、外部からの問い合わせ対応について質問があり、武田副学長から、各学部の入試説明会で質問があった場合には学部で対応していただく必要があるが、基本的には、アドミッションセンターで対応するとの回答があった。

藤田理事から、多方面からの質問が想定されるため、本日晒された大枠については個別の窓口で対応し、それ以外の質問については、アドミッションセンターで整理し対応を検討してはどうかとの意見があり、武田副学長から、そのように対応したいと考えており、誰がどこまでの内容を回答するかについては、今後検討していきたいとの回答があった。

生物資源科学部長から、募集人員を具体的に記載せず「学部定員の平均約30%」としている理由について質問があり、武田副学長から、学部によって選抜方法が異なるため統一性のある表記の仕方を検討する必要があるが、また、通常のへるん入試と、現時点では募集人員が確定していない「へるん入試(特定型)」の公表内容のバランスをとるため、募集人員については概要を公表することとしたとの回答があった。

この内容で対外的に公表することについて、文言修正等の意見等がある場合は、1週間後までにアドミッションセンターに提出することとした。また、変更があった場合には、変更後の資料をアドミッションセンターから評議員に通知することとして、原案どおり議決された。

報告事項

藤田理事から、報告事項については、「会議の効率的な開催について(申し合わせ)」に基づき特に説明が必要な事項について報告する旨の説明があり、以下について報告があった。

報告事項2「「大規模地震による被災を想定した業務継続計画(BCP)」の一部改正について」は藤田理事から、報告があった。

報告事項3「平成30年度実施 教員個人評価の総括について」は秋重理事から、報告があった。

報告事項4「平成31年度学年暦について」は荒瀬理事から、報告があった。

報告事項5「2019年度予算(案)の概要について」は吉田理事から、報告があった。

川向評議員から、指標がすでに定まっており、そのうち外部資金獲得関係の指標においては2017年度の獲得実績に基づき評価されることが決まっているが、これからどのような努力をすればよいのかとの質問があった。吉田理事から、今後は、少なくともマネジメントに関する指標については条件を満たすようにし、教員一人当たりの外部資金獲得実績等にも力を入れていく必要があるとの回答があった。

川向評議員から、研究に関する指標である「運営費交付金等コストあたりトップ10%論文数」は、重点支援③の大学のみが対象となるため、本学のような重点支援①や②の大学は、研究力については評価されないのかとの質問があった。吉田理事から、今後は教育研究も評価の対象となる予定だが、未だ客観的な指標がないため、今回の重点支援③の大学を対象とした試行的な指標をもとに検討し、新たな指標として追加される

のではないかとの回答があった。報告事項6「公的研究費等の不正使用防止に係る不正使用防止教育（e - ラーニング）の受講状況について」は吉田理事から、報告があった。

報告事項7「平成30年度職員に係る一般定期健康診断の受診状況について」は吉田理事から、報告があった。

報告事項8「島根大学支援基金の受入状況について」は藤田理事から、報告があった。

報告事項11「島根大学開学70周年記念事業について」は藤田理事から、報告があった。